

(別紙様式 1)

令和 4 年 2 月 1 0 日

実施計画書

文部科学省初等中等教育局長 殿

住所 岡山県真庭市久世 2927 番地 2
管理機関 (代表の機関) 名 真庭市
代表者名 太田 昇

1 管理機関

①管理機関 (市区町村・都道府県)

| | |
|-------|------|
| ふりがな | まにわし |
| 管理機関名 | 真庭市 |
| 代表者職名 | 市長 |
| 代表者職名 | 太田 昇 |

②管理機関 (産業界) ※2 団体以上ある場合は、適宜、欄を追加して記入してください。

| | |
|-------|-------------------|
| ふりがな | めいけんこうぎょうかぶしきがいしゃ |
| 管理機関名 | 銘建工業株式会社 |
| 代表者職名 | 代表取締役社長 |
| 代表者氏名 | 中島 浩一郎 |

③管理機関 (学校設置者)

| | |
|-------|------------------|
| ふりがな | おかやまけんきょういくいいんかい |
| 管理機関名 | 岡山県教育委員会 |
| 代表者職名 | 教育長 |
| 代表者職名 | 鍵本 芳明 |

2 指定校名

学校名 岡山県立真庭高等学校

学校長名 豊田 涼

3 事業名

自然・社会・人との対話で育む真庭型産業人材育成構想

— 「環境 (SDGs)」 × 「アグリビジネス」 ⇒ 豊かな生き方・働き方—

4 事業概要

- ・ 中山間地域において自然と共生しながら持続可能な地域産業と地域を担う人を育むため、産業と教育に知見を有する真庭市職員をマイスター・ハイスクール CEO、銘建工業社員を産業実務家教員として真庭高校に配置するとともに、小中連携等に取り組む郷育魅力化コーディネーターとの配置やコンソーシアムの構築により地域で

高校教育を共創する。

- ・真庭高校において、真庭市の農産物を生産・加工・販売する6次産業化への学習を農商連携により展開するとともに、地域の農林業資源を活用した農業体験や観光プランの提案等を行うアグリビジネスプランの作成に取り組む。地域関連企業と連携し、新商品の開発・提案を行うとともに、模擬会社スタイルの学習展開の中で起業家教育を推進する。

5 学校設定教科・科目の開設，教育課程の特例の活用（□で囲むこと）

- ア 学校設定教科・科目を開設している（検討中）
 イ 教育課程の特例の活用している

6 事業の実施期間

契約日～令和5年3月31日

7 令和4年度の実施計画

- ①マイスター・ハイスクールビジョン【マイスター・ハイスクール運営委員会】
 - ・マイスター・ハイスクールビジョンの進捗状況を管理するとともに、評価検証を行い、令和5年度に向けてビジョンの改善を行う。
- ②地域を担う人材育成カリキュラム【マイスター・ハイスクール事業推進委員会】
 - ・マイスター・ハイスクールビジョンに基づき、自らの生き方と持続可能な地域産業を重ねて考え、地域の担い手を育成するために必要な教育課程を検討する。
 - ・真庭高校での学びを小中学生に伝える交流学习の在り方を検討する。
 - ・真庭高校と地域企業との連携について協議し、地域をフィールドとした学習展開の在り方を検討し、試行する。
- ③地域産業学習カリキュラム【CEO・産業実務家教員・真庭高校】
 - ・令和4年度以降における環境と産業についての学びと地域産業及び地域での実習の場を、CEOを中心に検討し、産業実務家教員が課題研究等で真庭市の産業等を指導するとともに、実習先で体験的に指導する。また、地域産業学習を進路指導に結びつけ、地域の担い手を育成するキャリア教育計画を決定・実施する。
- ④地域資源を活用した学習カリキュラム【CEO・真庭高校】
 - ・令和4年度以降に食農生産科及び経営ビジネス科の全部又は一部の生徒に対して実施する、地域企業等と連携した取組内容を検討・実施するとともに、さらなる連携先や連携方法の検討を行う。
 - ・令和3年度に計画した全学科で実施する総合的な探究の時間「真庭トライ&レポート」で、テーマ『SDGs 未来杜市真庭～地域を学び、地域に学ぶ』を実施する。地域に出向き外部機関と積極的に協働して探究活動を深める。さらに、聞き書きを取り入れた班を設定し、聞き書きによる探究活動を試行する。
- ⑤学校設定教科・科目の研究【マイスター・ハイスクール事業推進委員会】
 - ・令和3年度に作成した真庭型産業人材育成プログラムを元に、学科横断型学校設定教科・科目の内容と効果について検討し試行を行う。
- ⑥真庭市郷育魅力化コーディネーターとの連携活動【CEO・郷育魅力化コーディネーター・真庭高校】
 - ・真庭市郷育魅力化コーディネーター・真庭高校による保・幼・こども園及び小・中学

校との連携活動の実施。

- ・真庭市郷育魅力化コーディネーターを中心として、教科・科目や総合的な探究の時間において、聞き書きの手法を取り入れた活動を実施する。

⑦活動を支援する体制の構築【管理機関】

- ・本事業に参画する個人・団体を広げ、コンソーシアムを構築する。

<添付資料>

- ・令和4年度教育課程表

8 事業実施体制

意思決定機関の体制（マイスター・ハイスクール運営委員会）

| 氏名 | 所属・職 |
|--------|----------------------------|
| 豊田 涼 | 岡山県立真庭高等学校・校長 |
| 中島 浩一郎 | 銘建工業株式会社・代表取締役社長 |
| 太田 昇 | 真庭市・市長（委員長） |
| 鍵本 芳明 | 岡山県教育委員会・教育長 |
| 大月 隆行 | 真庭商工会・会長 |
| 岡田 茂樹 | 晴れの国岡山農協・真庭統括本部常務理事 |
| 澁澤 壽一 | NPO 法人共存の森ネットワーク・理事長 |
| 池永 京子 | Maman 代表 |
| 中村 妃佐子 | 株式会社 HAPPY FARM plus R 取締役 |

事業実行機関の構成（マイスター・ハイスクール事業推進委員会）

| 氏名 | 所属・職 |
|--------|---|
| 平田 勉 | マイスター・ハイスクール CEO |
| 豊田 涼 | 岡山県立真庭高等学校・校長 |
| 中島 洋 | 銘建工業株式会社・総務人事部長 |
| 道満 洋和 | 岡山県商工会青年部連合会・理事 |
| 三村 伸行 | NPO 法人真庭めぐりガーデンプロジェクト・ゼネラルマネージャー |
| 牧 邦憲 | 真庭市産業観光部・産業政策課長 |
| 赤田 憲昭 | 真庭市教育委員会・教育次長 |
| 室 貴由輝 | 岡山県教育庁・高校教育課高校魅力化推進室長 |
| 杉山 俊幸 | 岡山県立真庭高等学校久世校地・副校長 |
| 武村 克彦 | 岡山県立真庭高等学校落合校地・副校長 |
| 大越 健太郎 | 銘建工業株式会社・小断面工場長（産業実務家教員） |
| 吉野 奈保子 | NPO 法人共存の森ネットワーク・事務局長（真庭市郷育魅力化コーディネーター） |
| 大岩 功 | 一般社団法人はにわの森・代表（真庭市郷育魅力化コーディネーター） |

| | |
|-------|--------------|
| 三村 公一 | 真庭支部中学校長会・会長 |
|-------|--------------|

9 課題項目別実施期間

| 業務項目 | 実施期間（契約日～令和5年3月31日） | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|---------------------|----|----------|-------------------------|----|-------------|--------------|---------------|-------------------|----|----|----------|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| ①マイスター・ハイスクールビジョン | | | | ○ | | | | | | | | |
| | ○印 運営委員会 | | | 7月・11月進捗状況確認 | | | | 評価・検証 | | | | |
| ②地域を担う人材育成カリキュラム | | | ◆ | | | | | | | | | |
| | ◆印 事業推進委員会 | | | 交流学习・地域産業界連携協議 | | | | | | | | |
| ③地域産業学習カリキュラム | | | | ★ | | | | | | ★ | | |
| | ← | | SDGs 講演会 | 研修調整 | | 銘建工業バイオマス学習 | | | → | | | 検証・次年度計画 |
| ④地域資源を活用した学習カリキュラム | | | | | | | | | | | | ★ |
| | 真庭トライ&レポート実施 | | | 地域連携内容検討、連携実施 | | | | 真庭トライ&レポート発表会 | | | → | 検証・次年度計画 |
| ⑤学校設定教科・科目の研究 | | | ◆ | | | | | | | | | ◆ |
| | ニーズ調査 | | ← | | | | 外部企業との連携・試行 | | ◆事業推進委員会開催時に検討・調整 | | | |
| ⑥真庭市郷育魅力化コーディネーターとの連携活動 | | ★ | | | | | | | | | | |
| | 聞き書き講座 | | ← | | | | 真庭トライ&レポート参画 | | → | | | |
| | ← | | | 植栽交流等の事業実施 | | | | → | | | | |
| | ← | | | 保・幼・こども園、小・中学校連携調整 | | | | → | | | | |
| | ← | | | 事業参画の個人・団体募集とコンソーシアムの構築 | | | | → | | | | |
| | ← | | | 次年度交流学习計画 | | | | → | | | | |
| ⑦活動を支援する体制の構築 | | | | | | | | | | | | |

10 知的財産権の帰属

※いずれかに○を付すこと。なお、1. を選択する場合、契約締結時に所定様式の提出が必要となるので留意すること。

- () 1. 知的財産権は受託者に帰属することを希望する。
- (○) 2. 知的財産権は全て文部科学省に譲渡する。

11 再委託の有無

再委託業務の有無 有 ・ 無

12 所要経費

別添のとおり

※課税・免税事業者： 課税事業者・ 免税事業者 (□で囲むこと)